

ご挨拶

東北大学 八重樫 伸生

2018年5月10日(木)から13日(日)までの4日間、仙台で第70回日本産科婦人科学会学術講演会を開催させていただきます。このような機会を与えていただきました理事長を始めとする学会役員並びに会員の皆様に深く感謝申し上げます。

1949年4月、第1回日本産科婦人科学会が東北大学医学部中央講堂で開催されました。それまで『東西に分かれていた日本婦人科学会と産科婦人科医学会という二つの産婦人科関連の全国組織を発展的に解消し日本産科婦人科学会として統合する』ことを仙台の総会で決議し、その年の学術集会を第1回としたのが本学会の始まりです。その後、仙台では第36回と第50回が開催されましたので今回が20年ぶり4度目となります。

メイン会場は第50回と同じ仙台国際センターですが、20年前にはなかった大きな展示棟が会議場に併設され、仙台地下鉄東西線も数年前に開通し、仙台国際センター駅が会場に直結しています。仙台駅から会場まで5分、市の中心部から3分とアクセスが抜群によくなりましたので、どうぞご利用ください。

2011年3月の東日本大震災は東北に甚大な被害をもたらしました。特に太平洋沿岸では地震・津波とその後起こった原発事故からの復旧・復興がまだまだその途上にあります。震災の年には日本産科婦人科学会から石巻や気仙沼、宮古などの病院に人的支援をいただきました。その後も東北連合産科婦人科学会からの要請に応じていただき、福島県内の病院にはいまだに継続的に医師派遣をいただいております。東北地方に勤務する産婦人科医を代表して感謝申し上げます。今回の学会ではそのような全国からのご支援に応えるべく、また東北の元気を全国に発信すべく、プログラム内容と学会運営の充実に心を砕いてまいりました。従来とは一味違う学会になることを願っております。

仙台は町中を広瀬川という清流が流れ、海といえば日本三景の松島、山といえば蔵王と思えばよぶように、国内でも有数の豊かな自然環境の中にある町で、世界遺産の平泉にも日帰り旅行が容易です。全国から、また世界中から参加していただく皆様にとりまして、実り多い学会になりますことを祈念しています。